

県本部第105回定期大会

日時：2019年10月11日(金) 13:00～
12日(土) 12:30
会場：南相馬市「さくらホール」
議案：2020年度運動方針(案)、2020年度
一般会計・特別会計予算(案)ほか

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:chousa@jichiro-fukushima.or.jp

第807号

2019年(令和元年)

8月21日

福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人志賀一幸

がんばろう福島

2019 人 勸

官民格差0.09%387円

一時金は勤勉手当0.05月増

6年連続の月例給・一時金引き上げ勧告

人事院は8月7日、官民格差に基づき、月例給については初任給の引き上げと30歳代半ばまでの号俸の引き上げ、一時金を0.05月引き上げるよう勧告。月例給・一時金とも6年連続のプラス勧告となった。

「公務員人事管理に関する報告」では、非常勤職員の夏季休暇を新設。また、定年の65歳への段階的な引き上げ実現への要請や長時間労働の是正、ハラズメント防止対策の充実・強化などについても言及した。

自治労は、19秋季確定闘争にむけ取り組みを強化するとともに、県本部も今後の県人事委員会勧告、秋季確定闘争へむけ、県公務員共闘会議へ結集していく。



ガンバロー三唱で選挙戦・夏期闘争の取り組みを誓い合う参加者

中央委

組織への結集を訴える

県本部は7月10日、福島グリーンパレスにおいて、第102回中央委員会を開催した。約160人が参加し、第13次組強計画総括・第14次組強計画(組織討議案)をはじめとする8つの議案すべてが賛成多数で承認された。

- ①2019春闘総括(案) ②当面の闘争方針(案)
- ③第13次県本部組強計画総括と第14次県本部組強計画(討議案)
- ④次期県本部財政2カ年計画について(討議案)
- ⑤2019年度一般会計・特別会計補正予算・2020年度暫定予算(案)
- ⑥県本部離職専従役員の追求について(案)
- ⑦自治労第92回定期大会の代議員の選出について(案)
- ⑧県本部特別執行委員の選出について(案)

志賀中央執行委員長のあいさつ後、連合福島今野泰会長、自治体議員連合紺野長人会長から来賓あいさつを受け、議案審議に移った。

(議案は別表)

8つの議案すべてが賛成多数で承認された。質疑討論では、いわき市職連合の高木中央委員からは「新採対策から組織強化への取り組み」、会津若松市職労の清水中央委員からは「夏の市長選と市議選の取り組み」、須賀川市職労の鶴川中央委員からは「8月の市議選の取り組み」、県職連合の澤村中央委員からは「働き方改革における超過勤務の縮減への取り組み」、南会津町職労の相原中央委員からは「秋の県議選の取り組み」、福島市職労の丹野中央委員からは「参議院の取り組み強化について」、喜多方市職労の五十嵐中央委員からは「会計年度の単組での取り組み」、大熊町職労の菅原中央委員からは「大熊町の現状についての報告」8名から発言があった。

これを受け、県本部は、「会計年度の制度構築は、9月議会が山場となる。情報の共有化を図る。残り少ない期間となった参議院、総力をあげて取り組むとともに、統一選においても組織内候補・推薦候補にむけ単組・総支部と連携して取り組み」と答弁した。

今後、統一自治体選挙が続く。合せて人勧期・確定期の要求前進に向け組織の総力をあげて取り組みを進める。

会津若松市長選挙 室井氏3選勝利

3期目当選 「室井照平」市長



3選を果たしガッツポーズする室井市長

任期満了に伴う会津若松市長選挙は、7月28日告示、8月4日投票で行われ、県本部推薦の『室井照平』市長が2万8千票余りを獲得し3選を飾った。今回の選挙は、室井市政の2期8年の実績を問う形で現職と新人2人による三つ巴の激戦となり、各団体は組織の引き締めを図り勝利へと結びつけた。

当選の挨拶では「政党や支持団体の垣根を越え、決意を新たに『オール会津』『オール会津若松』で雇用創出や観光振興などを通して地方創生を新たな段階に進める。市民と協働し、住みよいまちをつくる」と決意を述べた。

『室井照平』市長の当選は、連合福島、会津地区連合、そして福島県本部の団結の強さを内外に示すこととなった。この間の会津総支部、各単組の取り組みに心より感謝申し上げる。

開票結果	当	28,038	室井照平(63)	無現
		19,982	平出孝則(62)	無新
		4,061	阿部光正(69)	無新

第19回統一自治体選挙 組織内候補勝利を飾る

2期目当選 「高梨ひろし」市議



孫と妻正子さんと喜びを分かち合う「高梨浩」市議

7月28日告示、8月4日投票で行われた会津若松市議会議員選挙において自治労組織内「高梨ひろし」市議が激戦を制し、2期目当選を果たした。当選の挨拶では「市が直面している人口減少を食い止め、『誰もが住んでよかったと思う町づくり』をめざし、みんなで知恵を出し合いながら、みなさんの知恵をお借りしながら、今後も取り組んでいきたい」と職員を含め市民の皆さんの思いと声を市政につなぐ決意とご支援・ご協力に対する感謝を述べた。

初当選 「ふかや政憲」氏



妻祥子さんと当選を喜ぶ「深谷政憲」氏

任期満了に伴う須賀川市議会議員選挙は8月4日告示され、定数24に対し、現職14人、元職1人、新人9人の計24人が立候補し、無投票当選が決まった。自宅の事務所に駆けつけた支援者を前に挨拶に立った深谷氏は、「子どもや労働者、高齢者が安心して暮らせる須賀川市をつくらせていきたい。また、地元の地域保全の観点から豊かな農地を守り、稲田学園を中心とした地域づくりをすすめていく」と抱負を述べた。

これからも政治決戦が続く。9月3日に石川町議選、10月31日には福島県議選が告示となる。県本部では、組織内予定候補者「渡辺みのる」・「紺野長人」・「渡部英明」の必勝と引き続く、各級選挙での推薦候補の勝利に総力を挙げて取り組む。

組織内予定候補者「渡辺みのる」氏 石川町議選4期目必勝を誓う



「渡辺みのる」組織内予定候補者

任期満了に伴う石川町議会議員選挙は、9月3日告示、9月8日投票で執り行われる。

県本部は、第13回中央執行委員会(8月9日開催)において石川町議会議員選挙に「渡辺みのる」氏を組織内予定候補者(社民党・3期・71歳)を自治労組織に推薦するとして推薦決定した。

組織内予定候補者の「渡辺みのる」4期目必勝に向け、単組・総支部・県本部が一体となって取り組みを進める。組合員の皆さんのご支援をお願いする。

締め切り...8月30日(金)必着
詳細は7月22日付自治労福島発第373号を参照

第30回機関紙コンクール



最優秀選手賞
いわき市職連合
吉田正寿選手



22年ぶり優勝のいわき市職連合チーム



手に汗握る決勝戦を戦う選手たち

県本部は、第40回自治労軟式野球大会を6月26日、27日にかけて、白河市の「白河グリーンスタジアム」2会場で開催した。前回大会優勝の会津若松市職労チーム、準優勝の福島市職労チームと、各総支部予選大会を勝ち抜いた計10チームが出場した。2日間にわたり好天に恵まれ、予選から白熱した試合が展開された。



敢闘賞
福島市職労
古山雄一選手



準優勝の福島市職労チーム

野球 いわき市職連合 福島市職労に栄冠

第40回全日本自治体職員軟式野球・女子バレーボール 福島県大会

いわき市職連合 22年ぶり快挙

み、準決勝では白河市職労に5点差をつけての大勝、対するいわき市職連合も、準決勝で前回優勝の会津若松市職労を破つての決勝進出を決めており、好ゲームが期待された。

試合は初回から動きを見せる。福島市職労が2点を先制すると、2回裏にはいわき市職連合も1点を返し、流れを譲らない。中盤にはいわき市ホームランが飛び出し、4回を終わって4対2でいわき市職連合がリードする展開を見せる。最終7回には福島市職労が意地を見せ1点差に詰め寄り、そのまま1点を守った。いわき市職連合が4対3で福島市職労を下し、実に22年ぶりに県大会優勝の栄光をつかんだ。

試合結果

- 1回戦
 - 浪江町職0ー7福島市職
 - 大玉町職1ー7白河市職
 - 只見町職1ー7福島市職
 - 喜多方市職4ー3須賀川市職
 - 伊達市職0ー3会津若松市職
 - 喜多方市職0ー7いわき市職
- 準決勝
 - 福島市職7ー2白河市職
 - 会津若松市職0ー1いわき市職
- 決勝
 - 福島市職3ー4いわき市職

福島市職労 連覇成る

県本部は、第40回自治労女子バレーボール大会を6月15日、16日の両日、須賀川市の「須賀川アリーナ」鏡石町の「鳥見山体育館」で開催した。前回大会優勝の福島市職労チーム、準優勝のいわき市職連合をはじめ、県内各総支部より17チームが参加した。6月6日の組み合わせ抽選の結果、昨年の優勝・準優勝チームが同一ブロックに入るなど、激戦が予想された。

決勝のカードは前述の対決を制した福島市職労と、予選からフルセットの接戦を勝ち上がってきた伊達市職労の試合となった。試合展開は福島市職労のペースで進んだ。鋭いサーブ・スパイクを確実に得点に結び付け、伊達市職労に主導権を渡さず、第1セットを先取する。第2セットも勢いをそのままに、傾きかけた流れをすぐさま引き戻す

のほかに、自治労共済より特別賞が授与された。



2連覇を果たした福島市職労チーム



準優勝の伊達市職労チーム

東北地連スポーツ大会in青森

7月25日(木)・26(金)日の2日間、青森市内を会場に第41回自治労東北地連スポーツ大会が開催された。

○野球の部

東北地連の各県代表8チームが出場し、しのぎを削った。福島県代表のいわき市職連合は初戦で山形県・米沢市職労と対戦した。初回から3点を奪われるも、持ち前の打撃力を発揮し、6対5で逆転勝ちを収めた。

続く準決勝では、新潟県の胎内市職連との試合となる。優勝候補の相手チームの打撃力に押され、3回が終わって10対1と不利な試合展開を見せる。その後も相手チームの攻撃の手は休まず、1対13の5回コールドゲームを喫し、大会ベスト4の成績に終わった。

決勝は秋田市職連対胎内市職連によって行われ、6対10で胎内市職連が優勝した。

○バレーの部

東北地連各県より8チームが出場した。1回戦、福島市職労は、前大会の決勝で敗れた新潟県・上越市職労とのリベンジマッチが実現する。第1セット15-21と先取されるも、第2セットでは21-14と並びフルセットへ突入する。第3セットではデュースまでもつれ込むも、20-22と押し込まれ、惜しくも初戦敗退となった。

決勝は秋田県・男鹿市職労対上越市職労で争われ、2-0で男鹿市職労が今年度大会を制した。決勝進出の2チームは、9月6日~9日にかけて徳島県で開催される全国大会へ出場することが決定している。

決勝トーナメント結果

- 準決勝
 - 福島市職労ー相馬市職労 21ー5
 - 伊達市職労ー須賀川市職労 21ー6
- 決勝
 - 福島市職労ー伊達市職労 21ー11
 - 伊達市職労ー須賀川市職労 21ー12

個人賞受賞者

最優秀選手賞



伊達市職労
大友智子選手



福島市職労
羽田結衣選手

訂正とおわび

5月22日付の自治労福島第805号の2面「スポーツ大会総支部予選大会の結果(野球)」の記事で、会津総支部Aブロック・猪苗代町職対磐梯町職の試合結果が逆に誤りがありました。おわびして訂正します。
正 猪苗代12ー2磐梯
誤 猪苗代2ー12磐梯

ZENROSAI NEWS 5113Q186

総合共済ならこんな場合も給付されます!

お手続き忘れていませんか?

結婚祝金 夫婦ともに組合員の場合はお二人とも給付対象です。

死亡弔慰金 「親死亡」は実父母だけでなく、配偶者の父母(義父母)も対象です。

他にもさまざまな給付があります! ご請求はお忘れなく!

総合共済 総合(慶弔)共済

ご不明な点はまずは所属する組合にお問い合わせください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。